

森づくり最前線

会津森林管理署南会津支署 檜枝岐森林事務所 首席森林官 奥田 康弘

ひのえまた

私の担当する尾瀬・檜枝岐森林事務所は、新潟県・栃木県・群馬県と隣接する福島県南部に位置し、国有林管轄面積は約3,600ヘクタールとなっています。

当森林事務所の特徴は管内に「尾瀬国立公園」があることです。

湿原では雪解けと共にミズバショウ・リュウキンカ・ニッコウキスゲ等が咲き始める頃でも、燧ヶ岳の標高1,600m以上の登山道には、まだ残雪もあります。

手前の御池駐車場からはブナ原生林「ブナ平自然観察教育林」もあり、木漏れ日の中を散策すると気分爽快になる見どころです。

すが、一方で、近年クマの目撃情報も多いので自然を楽しむのにも注意する必要があります。

管理面では、ニホンジカが課題となっています。通常シカ柵は造林地を食害から守るために設置しますが、当支署では尾瀬の湿原植生保護を目的に設置しています。平成26年度から大江湿原約30ヘクタールの周囲を約3.5kmにわたりシカ柵を設置していますが、このうち、約1.55kmの設置、撤去は、当支署も参画している南会津尾瀬ニホンジカ対策協議会（公共団体等で構成する地域の生物多様性保全支援事業団体）の協力、支援を受け継続して取り組んでいます。



シカ柵設置中



参加者集合



山火事のぼり旗設置の筆者



グリーンサポートスタッフ活動中



木漏れ日のブナ林

去る6月4日には局長含め総勢18名がシカ柵設置作業を行いました。

また、森林保護啓蒙のためグリーンサポートスタッフ※による尾瀬の湿原巡視や登山マナーの声掛け、ゴミ拾いを、山開きから月2回実施しています。声掛けの際には旅の思い出として、オリジナルしおりをプレゼントし国有林のPRも行っています。

尾瀬の木道を爽やかな風を感じパトロールしているときなど、檜枝岐森林事務所勤務が出来て良かったと思えます。皆さんも是非来ていただき、尾瀬の大自然を感じて満喫してください。

※グリーンサポートスタッフ：入山者へのマナー啓発等を行う森林保護員